



愛郷無限

土屋館
どや
だて 通信

発行者：大曲・花火通り商店街
文責：辻

お問い合わせ：080-1265-7035
tuck-t@akita-tsujiya.jp

2014年04月10日号 NO.469

写真提供：大崎市

Subject：大学生の世界一周 納豆汁持って家庭料理食べ歩き

大曲出身の獨協大学4年生・斎藤悠輔君が、知人を通じて「【大曲のまちづくり活動】について話を伺いたい!」と訪ねて来たのは今年の1月2日の事でした。

大学の近くに代々学生達で経営・運営されている居酒屋があり、その店長も務めている彼は、この5月から半年間世界一周旅行に出かけることになりました。学生向けに格安の世界一周航空券を販売する会社があり、獨協大学では代々卒業年度の学生1名が世界各国の提携大学の寮や知人宅に泊めてもらい面倒をみてもらいながら世界一周をするという【大学非公認の学生間の習慣】が受け継がれているそうです。

この斎藤君が今年の栄えある大役を任されたそうです。各国で世話になる現地の方も先輩達から代々受け継がれており、バック一つで半年かけて世界を一周します。居酒屋店長として【食】に携わり、将来もその方面の仕事に携わっていきたくて考えている彼が、地元大曲の食文化を世界に発信する一助になりたいと考え、この世界一周を利用して愛する郷里・大曲を応援&PR出来る何かがないかと相談に来たのです。今回の旅の目的は、世界各国の大学生と交流することと、各国の普通の家庭料理をご馳走になり、普通の生活の中にある食文化を体験すること。料理レシピ紹介ウェブサイト日本最大【クックパッド】社のスポンサードも取り付け、【クックパッド】で世界の家庭料理を紹介するコーナーを持たせてもらうことも決まったそうです。

◆ クックパッド <http://cookpad.com>

彼の熱い想いと情熱にほだされ、私たちもカンパを募って資金的な応援をしつつ、「大曲の納豆汁」旨めもの研究会の【海外調査特派員】になってもらい、納豆汁を各国人に食べさせてその反応をレポートしつつ、大曲の食文化と花火の街を世界各国でPRするという大役を引き受けてもらいました。

大曲商工会議所青年部と「大曲の納豆汁」旨めもの研究会では彼に資金的な応援をすると共に、市販のフリーズドライ納豆汁を提供し、彼が訪れた先々で現地人に納豆汁を食べさせてもらいます（荷物量に制約があることと、検疫上の理由から本物の大曲納豆汁と比べてあまり美味しいとは言えないインスタントのカップ納豆汁になりますが、これは致し方なし）。世の中には【志】を持った素晴らしい若い衆が沢山います。

彼の世界一周の食体験の様子は、各国から随時データで送られてきます。大曲商工会議所青年部と「大曲の納豆汁」旨めもの研究会のホームページでその都度紹介していく段取りをしています。インターネットで簡単にデータが送られる便利な現在です。

出発は5月5日、成田から東回りでまずはアメリカに向かいます。皆で少しずつ協力して【志】ある若者を応援し、育てていきたいですね。

◆インターネット上でカンパ集めもしています。協力したい方は是非!

<https://readyfor.jp/projects/sekainoohukuro>